



1975. 1

「社会保険おきなわ」第一号が1975年1月に発行され47年余り、今回2022年9月号で記念すべき500号を迎えました。これもひとえに協会員の皆さまをはじめ関係各位の皆さま、そして読者の皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

「社会保険おきなわ」は、社会保険制度の改正内容や、年金制度・健康保険制度に関する諸手続きのお知らせ、そのほか働く方に役立つ情報をお届けしており、現在は年6回奇数月に発行しております。

■「社会保険おきなわ」が発行された当初
1975年当初はB5サイズと小さく、モノク



500号記念 「社会保険おきなわの歴史」

ロ6ページとシンプルなつくりをしておりまして。その後カラー化され、サイズもA4サイズに、ページも増えながら、35年にわたり毎月発行を行なってきました。その後2010年5月号から隔月（奇数月）の発行となりました。

■読み物としても楽しめる広報誌へ

働く皆さまにとって気になる社会保険・年金・健康保険制度に関する最新情報やお知らせを発信してまいりましたが、「読み物としても楽しめる広報誌にしたい」という思いから2018年11月号、管理栄養士や社会保険労務士など様々な分野の方に執筆していただく「コラム」の掲載が始められました。コラムの執筆には社会保険協会が行なう「社会保険事務講習会」などで講師をして頂く先生方にも行なっていたいただいております。時世や季節に合わせたテーマで読者の皆さまがより楽しめる内容となっております。（本号6〜7ページにこれまでのコラム記事を振り返る「500号記念」もう一度読みたい！コラム」を掲載しております。ぜひ併せてご覧ください。）

2019年1月号からはページ数を12ページに拡大、よりボリュームのある広報誌となりました。また同年から4年連続1月号を彩るページと





「2019年 中村氏」



「2020年 比嘉氏」

して協会会長の「新春インタビュー」ページを設け、お正月ならではの魅力ある記事を掲載いたしております。2020年11月号では社会保険にまつわる相談をQ&Aでお伝えする「教えて城間先生!!」の連載も始まり、後からでも読み返したくなる情報を発信しております。

＊「新春インタビュー」歴代インタビューア

2019年 中村 一枝氏（ラジオパーソナリ

ティ、テレビ番組ナレーター等）

2020年 比嘉華奈江氏（株Life is Love代表

取締役）

2021年 与儀久美子氏（よぎキャリアコン

サルティング代表）

2022年 千葉千尋氏（保健師）



「2021年 与儀氏」



「2022年 千葉氏」

＊「教えて城間先生!!」バックナンバー

vol.1 「勤務形態の変更と最低賃金について」
（2020年11月号）

vol.2 「年次有給休暇の取得義務化について」
（2021年1月号）

vol.3 「男性の育児休業について」
（2021年3月号）

vol.4 「育児休業について」
（2021年5月号）



vol.5 「健康保険被扶養者認定について」
（2021年9月号）

vol.6 「新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給について」
（2021年11月号）

vol.7 「2022年1月から改正される傷病手当金の支給期間について」
（2022年1月号）

vol.8 「定年退職を1か月後に控えた従業員に対しての年休の新規付与について」
（2022年3月号）

vol.9 「採用日と出勤日が異なる場合の資格取得年月日について」
（2022年5月号）

vol.10 「短時間労働者の社会保険適用拡大について」
（2022年7月号）



過去の広報誌（2016年9月号から現在まで）は、社会保険協会ホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。気になる方はぜひご覧ください。

今後皆さまへ「社会保険おきなわ」を通し、働く皆さまへ魅力ある情報を発信してまいります。これからもどうぞよろしくお願ひします。

